



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月1日

上場会社名 日立造船株式会社
 コード番号 7004 URL <http://www.hitachizosen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長兼CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 谷所 敬
 (氏名) 中村敏規

TEL 06-6569-0022

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	258,803	5.6	1,453	65.5	344	—	△1,594	—
28年3月期第3四半期	245,079	7.6	878	—	△2,322	—	△5,988	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △1,254百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △3,954百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△9.46	—
28年3月期第3四半期	△35.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	378,285	108,156	28.4
28年3月期	401,648	120,666	28.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 107,440百万円 28年3月期 114,158百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	3.3	16,000	5.9	12,000	△2.2	6,000	2.6	35.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	170,214,843 株	28年3月期	170,214,843 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,657,485 株	28年3月期	1,650,068 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	168,560,036 株	28年3月期3Q	167,010,773 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 平成29年3月期 第3四半期 連結業績補足資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済情勢は、海外では、米国における景気回復や中国での景気の持ち直し等により、全体として景気は緩やかに回復したものの、英国のEU離脱問題等もあり、先行き不透明な状況が続きました。国内では、為替が円高に推移し、設備投資の持ち直しに足踏みが見られたものの、雇用情勢は改善しており、景気は緩やかな回復基調にありました。

こうした中で、当社グループでは、平成26年度からスタートした中期経営計画「Hitz Vision II」のもと、社会的存在感のある高収益企業を目指し、事業と経営管理のイノベーションの観点から、重点伸長分野である「環境・グリーンエネルギー」及び「社会インフラ整備と防災」の事業領域において成果をあげるため、最適な事業戦略の構築と経営資源の集中を進め、収益力強化と事業規模拡大のため、海外現地事業の推進、継続的事業の拡大、新製品・新事業の早期事業化・収益化等の重点施策を鋭意推進してまいりました。

以上のような取組みを進める中で、当期の受注高は、環境・プラント部門の増加等により、前年同四半期を上回る280,946百万円となりました。また、売上高については、環境・プラント部門及びインフラ部門において大口工事が進捗したことに伴い、前年同四半期を上回る258,803百万円となりました。

損益面では、営業利益は、環境・プラント部門の減少があったものの、機械部門及びインフラ部門が営業利益に転じたこと等により、前年同四半期から増加し1,453百万円となりました。また、経常損益も前年同四半期から改善し、344百万円の利益計上となりました。固定資産売却益を特別利益に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損益も前年同四半期から改善し、1,594百万円の損失計上となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①環境・プラント

海外向け大型プラント建設工事の進捗等により、売上高は前年同四半期を上回る161,728百万円となりました。一方、営業利益は、高採算工事の減少等により、前年同四半期を下回る704百万円となりました。

②機械

大口工事の減少等により、売上高は前年同四半期を下回る69,392百万円となりました。一方、営業損益は、構造改革の進捗等により、前年同四半期の損失計上から転じて、170百万円の利益計上となりました。

③インフラ

大口工事の順調な進捗に伴い、売上高は前年同四半期を上回る19,572百万円となり、営業損益は前年同四半期の損失計上から転じて、330百万円の利益計上となりました。

④その他

売上高は前年同四半期を上回る8,111百万円となったものの、営業利益は前年同四半期を下回る213百万円となりました。

当社グループの事業の性質上、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きく、売上高が連結会計年度末に集中することから、業績は季節的変動が大きくなる傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べて23,363百万円減少し、378,285百万円となりました。負債の部は、仕入債務の支払いに伴う支払手形及び買掛金ならびに未払費用の減少等により、前連結会計年度末に比べて10,853百万円減少し、270,129百万円となりました。純資産の部は、資本剰余金及び非支配株主持分の減少等により、前連結会計年度末に比べて12,510百万円減少し、108,156百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね計画どおりに推移しており、平成29年3月期通期の業績予想につきましては、前回(平成28年5月11日)公表値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当該変更が当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,584	49,275
受取手形及び売掛金	139,276	108,212
有価証券	10	—
商品及び製品	2,152	1,398
仕掛品	23,914	37,212
原材料及び貯蔵品	4,912	5,027
その他	23,420	24,842
貸倒引当金	△3,410	△3,664
流動資産合計	241,859	222,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,482	30,628
土地	61,315	57,550
その他(純額)	27,008	27,453
有形固定資産合計	119,806	115,632
無形固定資産		
のれん	3,073	2,304
その他	4,643	4,350
無形固定資産合計	7,716	6,654
投資その他の資産		
その他	33,233	34,643
貸倒引当金	△990	△959
投資その他の資産合計	32,243	33,683
固定資産合計	159,766	155,970
繰延資産	23	11
資産合計	401,648	378,285

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,796	33,427
電子記録債務	19,751	19,921
短期借入金	28,655	48,929
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払費用	51,959	39,017
未払法人税等	2,848	1,985
前受金	18,728	22,053
保証工事引当金	4,901	4,394
工事損失引当金	5,498	3,782
その他	8,912	10,603
流動負債合計	184,053	194,114
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	65,405	55,314
退職給付に係る負債	17,699	16,817
役員退職慰労引当金	401	445
資産除去債務	966	947
その他	2,455	2,490
固定負債合計	96,928	76,015
負債合計	280,982	270,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,442	45,442
資本剰余金	12,230	9,038
利益剰余金	57,329	53,826
自己株式	△1,007	△1,011
株主資本合計	113,995	107,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	488	664
繰延ヘッジ損益	△96	△370
土地再評価差額金	△49	△7
為替換算調整勘定	3,135	968
退職給付に係る調整累計額	△3,314	△1,109
その他の包括利益累計額合計	163	145
非支配株主持分	6,507	715
純資産合計	120,666	108,156
負債純資産合計	401,648	378,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	245,079	258,803
売上原価	208,072	221,301
売上総利益	37,007	37,501
販売費及び一般管理費	36,128	36,048
営業利益	878	1,453
営業外収益		
受取利息	64	41
受取配当金	286	189
持分法による投資利益	—	465
その他	715	945
営業外収益合計	1,065	1,642
営業外費用		
支払利息	759	602
持分法による投資損失	1,923	—
その他	1,583	2,148
営業外費用合計	4,266	2,751
経常利益又は経常損失(△)	△2,322	344
特別利益		
固定資産売却益	—	1,425
特別利益合計	—	1,425
特別損失		
海外事業関連損失	—	1,162
債務保証損失引当金繰入額	1,405	—
特別損失合計	1,405	1,162
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,728	607
法人税等	1,394	1,606
四半期純損失(△)	△5,123	△999
非支配株主に帰属する四半期純利益	865	595
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,988	△1,594

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△5,123	△999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195	61
繰延ヘッジ損益	409	△403
為替換算調整勘定	△586	△1,969
退職給付に係る調整額	1,155	2,269
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△212
その他の包括利益合計	1,168	△255
四半期包括利益	△3,954	△1,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,834	△1,604
非支配株主に係る四半期包括利益	879	350

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社が当第3四半期連結累計期間において㈱エイチアンドエフに対する公開買付けを実施した結果、同社の普通株式4,283,196株を取得したこと等により、資本剰余金が3,192百万円減少しました。このため、当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金は9,038百万円となっております。

4. 補足情報

(1)平成29年3月期 第3四半期 連結業績補足資料

①連結損益計算書

(単位:億円)

		27年度第3四半期 累計期間		28年度第3四半期 累計期間		比較	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
営業利益・ 売上高	環境・プラント	1,472	24	1,617	7	145	△ 17
	機 械	735	△ 12	694	2	△ 41	14
	イ ン フ ラ	169	△ 9	196	3	27	12
	そ の 他	74	5	81	2	7	△ 3
	合 計	2,450	8	2,588	14	138	6
営業外損益	金 利 負 担 額		△ 4		△ 4		0
	持分法による投資損益		△ 19		5		24
	そ の 他		△ 8		△ 12		△ 4
	計		△ 31		△ 11		20
経 常 利 益			△ 23		3		26
特 別 利 益			—		14		14
特 別 損 失			△ 14		△ 11		3
税金費用・非支配株主帰属利益			△ 22		△ 21		1
親会社株主に帰属する 四半期純利益			△ 59		△ 15		44

※営業利益の「その他」には消去を含んでおります。

②連結受注高

(単位:億円)

事業セグメント	27年度第3四半期 累計期間	28年度第3四半期 累計期間	比較
環境・プラント	1,588	1,711	123
機 械	741	743	2
イ ン フ ラ	246	224	△ 22
そ の 他	75	131	56
合 計	2,650	2,809	159

③連結受注残高

(単位:億円)

事業セグメント	平成28年3月末	平成28年12月末	比較
環境・プラント	4,752	4,846	94
機 械	892	941	49
イ ン フ ラ	312	340	28
そ の 他	2	52	50
合 計	5,958	6,179	221

④連結貸借対照表

(単位:億円)

科 目	平成28年3月末	平成28年12月末	比較
現金及び預金	516	493	△ 23
受取手形及び売掛金	1,392	1,082	△ 310
棚卸資産	310	436	126
有形・無形固定資産	1,275	1,223	△ 52
その他	523	548	25
資産の部合計	4,016	3,782	△ 234
支払手形及び買掛金	626	534	△ 92
有利子負債	1,051	1,154	103
その他	1,133	1,013	△ 120
負債の部合計	2,810	2,701	△ 109
株主資本	1,140	1,073	△ 67
その他の包括利益累計額	1	1	0
非支配株主持分	65	7	△ 58
純資産の部合計	1,206	1,081	△ 125
負債・純資産の部合計	4,016	3,782	△ 234

⑤連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科 目	27年度第3四半期 累計期間	28年度第3四半期 累計期間	比較
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	10	△ 68
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 74	△ 9	65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 109	△ 11	98
為替換算差額	2	△ 9	△ 11
現金及び現金同等物の増加減少額	△ 103	△ 19	84
現金及び現金同等物の期首残高	607	496	△ 111
その他増加減少額	2	—	△ 2
現金及び現金同等物の期末残高	506	477	△ 29